

# 赤ちゃん学セミナー

## 「母親のwell-being」と 「子どもの能力開発」について

### ～脳科学と赤ちゃん学の視点から～

「well-being」の意味は「幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態」です。最近、その言葉をよく耳にするようになりました。

「子供の能力開発」については常に叫ばれている言葉のように感じます。これらの言葉を叫ばなければならない社会で、何を課題とするべきなのでしょう。

脳科学と赤ちゃん学の視点から皆さんと考察したいと考えています。

**2024年10月22日（火） 14:30～16:00**

講師：**元山 純 教授**

同志社大学

赤ちゃん学研究センターセンター長



募集人員：会場参加20名 オンライン参加20名程度

申込：webによるお申込み

<https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=406004>



<定員になり次第締め切らせていただきます>

主催：（公財）京都産業21（ATVK子どもの能力開発部会部会）

# ATVK 子どもの能力開発部会について

アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都 (ATVK)では、入居企業をはじめ、様々な企業等の議論や交流を促進させることを通じ、そこで生まれた課題解決のアイデア等を、新たなビジネス、商品開発等につなげていくことを目的として、「テーマ別部会」を立ち上げました。

現在、これらの部会には、個々のテーマに関心のある府内外の多くの企業や大学、研究機関等が参画されており、異業種・異分野の皆さまの交流によって、様々な議論が進められています。

その一つが「**子どもの能力開発**」部会です。

子どもの能力、創造性を育てる様々な活動や取り組みを支援しています。イノベーションは、“既存要素の新結合“と言われます。”異分野”の赤ちゃん学、実は、脳科学、発達神経学、教育学、倫理学のみならずロボット工学も包含した異分野融合型の新しい学問領域です。今回のご講演から、子どもの能力開発、ひいては大人の創造力の再開発に繋がるヒントがあるかもしれないと思っています。

## 赤ちゃん学とは

- ・小児科学、発達心理学、発達神経学、脳科学、教育学、保育学、物理学、ロボット工学、倫理学など多様な視点から、人間の起点である赤ちゃんを研究する異分野融合型の新しい学問領域のことです。
- ・赤ちゃんの運動、感覚・知覚、認知、言語、社会性などの各機能の発達プロセスとその障害のメカニズムの解明、およびその支援、さらには、胎児や乳幼児の人権にまで及びます。
- ・誰もがみな、かつては赤ちゃんでした。赤ちゃんに秘められた謎を慎重に、しかし果敢に解いていくことは「人」を知ることになるのです。

## 赤ちゃんの不思議を研究する



## アクセス

- ・名神高速道路 大山崎料金所からすぐ
- ・JR山崎駅、阪急大山崎駅より車で5分（徒歩20分）

〒618-0071

京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田30番地1

**無料駐車場完備**

お問い合わせ

・ATVK事務局（公財）京都産業21

TEL：075-925-8821（直通）

